

県技能検定シーケンス制御2級、3級の部

西野、加藤さん 2位

駒工高3年

県と県職業能力開発協会が開いた県技能競技大会兼技能検定のシーケンス制御2級の部、同3級の部で、駒ヶ根工

業高校(駒ヶ根市)の3年生2人が2位(県職業能力開発協会長賞)を獲得した。工業高校の生徒はもちろん、社会人も多く受験する国家検定。同校生徒が2級に合格するの



県技能競技大会のシーケンス制御2級の部で2位を獲得した西野さん(左)と同3級の部で2位を手にした加藤さん(右)

は約10年ぶりで、同大会で表彰されるのは初めてという。同2級で2位を手にしたのは電気科の西野諒太さん(17)、同3級で2位となったのは情報技術科の加藤丈皓さん(18)の2人。検定は昨年12月から1月にかけて岡谷市で開き、2級に12人、3級に73人が受験した。合格者をさらに審査し、部門ごと上位3人を17日に県庁で表彰した。

シーケンス制御は、産業用ロボットや家電製品などに幅広く用いられる制御技術。機械にコンピュータプログラムを入力することで、始動から終了までの工程を自動化、省力化する場合などに利用する。2人は配線作業や、プログラム入力などを正確に仕上げたところが評価された。2人は検定に向けて、昨年11月から放課後を中心に練習を重ねた。同校教諭や外部講師の協力があつたといい、西野さんは「合格するとは思っていなかったのだけれど、指導してくれた皆さんのおかげ」と感謝。加藤さんは「合格に加えて表彰もされたので喜びは2倍」と話している。(布袋宏之)